

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	校外研修3	
科目基礎情報					
開設学科	情報ビジネス科	コース名	コース共通	開設期	通年
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間	時間割外	授業形態	実習
教科書/教材	事前に研修先情報として、資料を配布				
担当教員情報					
担当教員	兒玉 奉恵		実務経験の有無・職種	有・会計事務所	
学習目的					
学生のうちに見聞を広げる為にも、学外での社会科見学は必要である。最新ビジネス商品展示会、工場での製造過程の見学・体験、周辺地域の旧跡の見学等を行って、得た知識を元にレポートなどをまとめ、それらの結果を授業中に発表する。これらによって得られる知識は多く、担当分野以外の見学を行って自分自身を成長させ、見聞を広げて知識向上を図ることを目的とする。					
到達目標					
イベント参加前に、見学先の情報などを事前に調べておき、疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、見学時には担当のからからの説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。 最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他の人に説明することができる。					
教育方法等					
授業概要	企業で薦める最新ビジネス商品の展示会などに参加し、最先端の企業戦略ではこういったサービスや製品を提供しているかを知り、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。				
注意点	研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回のガイダンスで説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験				
	課題				
	レポート	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点				
授業計画（1回～15回） 1回（ 2 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		事前に準備しておくべきことを理解できる		
2回	事前準備(1)		出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる		
3回	事前準備(2)		出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる		
4回	事前準備(3)		出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる		
5回	企業説明へ参加(1)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
6回	企業説明へ参加(2)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
7回	企業説明へ参加(3)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
8回	企業説明へ参加(4)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
9回	企業説明へ参加(5)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
10回	企業説明へ参加(6)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
11回	企業説明へ参加(7)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
12回	企業説明へ参加(8)		説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる		
13回	資料作成・発表(1)		校外研修の内容を資料にまとめ、発表する		
14回	資料作成・発表(2)		校外研修の内容を資料にまとめ、発表する		
15回	資料作成・発表(3)		校外研修の内容を資料にまとめ、発表する		